

雲翠泉

創業70年余り。レトロな雰囲気がたまらない。浴場は天井が高く開放感があり、奥行きがあるので富士山の絵も大迫力だ。絵は伊豆の荒波はじける富士山と、巖門めぐりで知られる北陸・能登金剛の風景。男女を仕切る壁にもタイル絵が描かれている。

☎03-3801-4126



【アクセス】駅より歩いて約13分

江戸うさぎ

荒川区は、もんじゃ焼き発祥の地。そのもんじゃ焼きを、お菓子で再現したのがこの店の「もんじゃ焼き煎餅」。ソースをつけて食べる一層おいしい。

☎03-3891-1432



【アクセス】駅より歩いて約4分

養福寺

境内には、江戸時代に活躍した談林派歴代の句碑や、柏木如亭の碑、自堕落先生の墓などがある。赤色が鮮やかな仁王門は宝永年間(1704~11年)の建築と伝えられ、裏側には四天王のうちの広目天と多聞天の像を安置する。



【アクセス】駅より歩いて約5分

延命院

幹周り約5.3m、高さ約16m、枝張り約23m(南北)の大椎が見どころ。樹齢600年を超える都指定天然記念物である。境内周辺からは縄文時代の貝塚が発見され、土器や石器、骨角器などが数多く出土した。



【アクセス】駅より歩いて約2分

竹工芸 翠屋

江戸の伝統を受け継ぐ、三代にわたる花籠の店。花籠とは花を活ける竹籠のこと。3~5年寝かせた真竹や、100年以上も経っている煤竹のほか、ほうび竹、黒竹、白竹、虎竹など、使われる竹の種類はさまざまである。竹の選別、竹割り、染色、編み上げの全工程を、店と隣接する工房で行っているので、タイミングが良ければ製作も見学可能。店内には入手しやすいリーズナブルな竹籠や竹小物もいっぱいあるので、ぜひお土産にしたい。☎03-3828-7522



花籠(左は非売品)



【アクセス】駅より歩いて約4分

※情報は2010年3月1日現在のものです。

日暮里織維街

日暮里は布の街。織維問屋街が駅前から両側約1kmにわたって続く。大正時代に浅草から織維業者が日暮里の地に集団移動したことが始まりで、現在では約90店舗の生地店が集まる。11月下旬には、デザインコンテストを兼ねたファッションショーを日暮里サンーホールで開催。



【アクセス】
駅より歩いて約3分



夕やけだんだん

日暮里駅方面から谷中銀座へ下る坂。約50段ほどの階段があり、階段の上から谷中銀座を見下ろす風景は、しばしば谷中関連の雑誌や番組に登場する有名なものである。ここから眺める夕日は格別で、下町情緒たっぷり。



【アクセス】
駅より歩いて約3分



下御隱殿橋トレインミュージアム

線路の上に架かる橋のバルコニー。新幹線や特急列車をはじめ、山手線、京浜東北線、京成線など、ここから約20種類、1日約2,500本の列車を見ることができる。



【アクセス】
駅より歩いて約1分



羽二重団子 本店

文政2年(1819年)の創業。こしあんと、生醤油つけ焼きの古風な団子で知られる、東京を代表する老舗だ。夏目漱石や正岡子規など明治・大正の文豪にも愛され、本店には歴史的資料を保管した展示場もある。団子はお茶と一緒に喫茶室で味わうことも可能。

☎03-3891-2924



【アクセス】
駅より歩いて約5分

